

ご案内

スポーツリーダー 育成研修会

「パラリンピックと私」



ながせ みつる
講師：永瀬 充氏

(北海道新聞パラスポーツアドバイザー)

■日時

2021年1月17日(日)

10時～12時(9時半受付開始)

■場所

かでの2・7 730号室

■参加費

2000円

午後の部 13時～15時

北海道ろうあ連盟スポーツ委員会があります。

スポーツ委員会出席対象者は、各協会体育部長及び各競技別委員会から選ばれた2名ずつになります。

北海道スポーツ委員会への未結成の競技グループの場合は、地域クラブの代表者を送り出してください。

1976年1月23日生まれ。中学・高校とバスケット部に所属するが高校1年生(1991年)の秋に神経の難病「慢性炎症性脱髄性多発根神経炎(CIDP)」に襲われ歩行困難に。翌年2月から4ヵ月入院するが、症状は好転せずスポーツができないショックから虚無の時を過ごす。一度大学に入学したが、症状が悪化し間もなく中退。

1995年(19歳)、旭川に戻って入院中にパラアイスホッケー(当時アイススレッジホッケー)に出会い、退院後さっそく練習に参加。1998年(22歳)、長野パラリンピックにゴールキーパーとして出場し、セーブ率90%で総合4位。

2000年(24歳)、世界選手権では世界オールスターメンバー(ベスト6)に選ばれる。同年、「本場でアイスホッケーを極めたい」とカナダのオタワに渡りアルゴンキン・カレッジに留学。障害者支援ワーカーコース(DSW)で学び、地元チームに加わって腕を磨いた。

2002年(26歳)、ソルトレークシティーパラリンピックに出場し、長野大会銀メダルの強豪カナダを下す大金星をあげる。セーブ率87%は、全出場ゴールキーパー中2位を記録。2006年(30歳)、トリノパラリンピックでは予選リーグ1勝1敗1分、順位決定戦2勝0敗で5位入賞。10年(34歳)、バンクーバーパラリンピックでは、準決勝で地元カナダと対戦し20本中19本のシュートを止めて勝利に貢献。初の決勝進出を決め、銀メダルを獲得した。

2015年に引退。現在、北海道新聞パラスポーツアドバイザーとして講演活動やイベントを通してパラスポーツの普及活動を行っている。

主催者として出来る限り北海道スタイルの取り組みとし、コロナウイルス感染対策を実施しますのでご安心して来場ください。

必ずマスクの着用をお願いします。もし体調が悪い、熱の疑いがある場合はご来場を控えてください。

- 会場 道民活動センター(かでの2・7 札幌市中央区北2条西7丁目)
- 締切日 2021年1月8日(金)まで(地域協会までの申込み締切日 1月6日(水)まで)
- お問い合わせ (公社)北海道ろうあ連盟事務局 (FAX011-281-1289)